

市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 H26.10.25 菊田広嗣 国分勝広

1. 日 時 平成26年10月30日（木）午後6時30分～午後8時25分
2. 場 所 白沢公民館長屋分館（和室）
3. 出席議員 菊田広嗣 菅野健治 渡辺善元 川名順子
渡辺由紀雄 国分勝広 作田 博 （7名）
4. 出席市民 16名
5. 会議経過

【午後6時30分開会】

◇渡辺由紀雄議員 開会宣言

○作田博議長 挨拶

挨拶とともに本日の開催趣旨の説明を行う。

また、本意見交換会は議会としての市民との意見交換会なので、議員の個人的な考え方や意見を尋ねられても回答でき兼ねる旨、議会は執行機関ではないので、市長へ伝えるものと議会として対応するものに分けて対応する旨を伝えた。

（その後、出席議員が各自氏名、所属常任委員会、出身地の自己紹介、事務局の自己紹介を行い報告に入る）

【報告】

◇渡辺善元議員

市議会の構成、定例会・臨時会の審議の概要、会派制と政務活動費について報告を行う。

報告の後質疑に入る。

《質疑 要旨》

問（市民）

政務活動費の用途について、会派として出すわけではなく個人で受けている人は負担が大きくなるのではないか。

答 国分勝広議員

交通費や講演会受講費、宿泊費で報告のような会計になっている。

答 渡辺由紀雄議員

確かに会派と個人では個人の方が負担は大きい。例として会報などが挙げられる。ただし、ほかの研修費や宿泊費に関しては個人負担は同じである。誤解していただきたくないのが、もらっているわけではなく活動に使っていい経費が決まっているだけであることをご理解いただきたい。

答 作田博議長

議長が会派に所属していないのは、取り決めによるものである。

問 (市民)

ほとんどの会派が調査研究費として支出している。活動内容を会派ごとにお聞きしたい。

答 渡辺善元議員

みらい創和会派は、静岡へ六次化の研修に行った。また、復興大臣への陳情に合わせて研修にいった。

答 渡辺由紀雄議員

市として出した陳情の進捗を確認するために、復興大臣や環境省、森大臣のところへ赴いた。また、自分で除染を行った方への補助や仮置き場への対応など効果があったと思う。

答 川名順子議員

新聞の折り込みで報告させていただいたが、高齢化への対応について自助、公助、共助等のあり方について勉強した。また、本宮駅の東西アクセスについて、どのような通路を作るべきなのか視察を行った。また、日本橋にある福島物産館の視察を行ってきた。また、新潟に行って防災対策について、認知障害についての研修を行ってきた。

問 (市民)

震災後通学路や道路の除染を行政区で行った。その際に県からの補助で50万を上限に支払われたが、人件費は認められていない。データが残っていると思うので、それらの人件費をまとめて東電等に請求できないのか。

答 渡辺由紀雄議員

まだ議会では話になっていない。持ち帰って可能性があるのか確認をしたい。

【意見交換会】

(司会) 続いて意見交換に入る

テーマ「定住人口増加の取り組みについて」菅野健治議員より説明がある。

問 (市民)

人口が減った原因は放射能による影響が大きいと思う。除染をしっかりとしなければ子供がいなくなる。また、住民には線量等の情報が伝わってないのも一因ではないか。

答 菅野健治議員

知り合いの話だが、東京在住の人が里帰りしようとしても子供を連れて帰るのはダメだと言われたという話がある。

答 渡辺由紀雄議員

たしかに放射能の影響で避難している人も多い。ただこれは本宮だけの問題ではない。むしろ本宮は他市町村と比べて人口減少も少ない。人口減は全国的な問題だと認識している。もちろん除染の一刻も早い終了を議会としても市に要望していく。

社会減を減らさないとならない部分もあり、複合的に考えなければならない問題である。

問（市民）

昔は仲人などの制度などがあつた。助成制度に目玉をつくるべきでは。
他自治体の成功例などを勉強していただきたい。（結婚式費用の助成など）

答 菅野健治議員

行政が色々な手を打って行かなければならない時代である。

答 国分勝広議員

自治体でも補助制度を行っているところが多くある。

答 渡辺由紀雄議員

昔は農業委員会が主体で行っていたが、成功はしなかつた覚えがある。しかし、自治体が出会いの場を創るニーズが出てきていると思う。まずは住みたい市を目指すべきである
と考える。

問（市民）

仮設住宅で生活されている方々に定住していただく施策が必要ではないか。復興公営住宅
が出来ることが、もっと様々な場所に増やすべきでは。

答 渡辺由紀雄議員

復興住宅の申し込み状況（中間報告）では、和田110% 仁井田40% 杵形130%
吹上20%となっている。すでに土地を購入して住んでいる方もいるが、賠償の問題で住
民票を移していない方もいる。議会としても浪江の方が土地を所望する場合、対応する課
を作るよう市に対し要望はしている。

問（市民）

本宮市の既に造成されて手に入れられる土地（分譲地等）が少ないのでは。

業者が造成しようとする本宮の場合は制約が多いのではないかと。業者の負担が多い。
民間の業者が動きやすいようにしていただきたい。市がもっと介入すべきと議会では提言
していくべきでは。例えば、大玉村ではもっと補助がある。

答 菅野健治議員

議会でも同じような意見は多く出ている。前回の議会でも定住促進の予算が可決された。

市の考えでは、積極的に介入せず、民間活力を活かして造成していくとの見解である。

議員からの質問 渡辺由紀雄議員

例えばとのこと、大玉村の場合は水路の引き込みの補助はどのくらいか。

議員からの質問に対する答（市民）

大玉村は、水道や側溝などは全て村で行っている。そこからの引き込みを業者で行う。

1区画100万以上はかかっているのではないかと。

答 渡辺由紀雄議員

自治体間の競争の苛烈化が懸念される。また、先ほど、制約が多いとの話があつたが、
検討委員会でもその話が出ている。是非それについての提言がいただきたい。

答 国分勝広議員

道路等のインフラ整備をすすめることで人口増につながると考える。

答 渡辺由紀雄議員

議会としても提言を行っていく。

【意見交換会】テーマを「地域の助け合い（共助）について～これからの地域のあり方～」に移す。

問（市民）

長屋では農地水環境事業に取り組んでいる。それに伴って県道の法面の草刈を行われている。業者ならば賃金をもらえるが、今は農家がボランティアで行っている。県に掛け合って、地区ごとでいいので助成金が出るように言っていただきたい。

答 渡辺善元議員

おっしゃるとおりである。これからは高齢化で難しくなってくると考える。

これからは公道についての管理の見返りを要求すべきだと思うので、これからも要求していく。

答 菅野健治議員

公道の法面については働きかけをしていきたい。

問（市民）

これから休耕地が増えてくるのではないか。農家が衰退するような政策が行われているように思う。

そこで、農家の負担が大きいなかで公道の草刈までするのは大変なので、業者に行ってもらえるようにならないのか。

答 渡辺善元議員

我々も要望していきたいと考える。

問（市民）

カメムシ対策について、防除のために農薬をとったが、市には補助をしていただきたいということで要望書を提出した。農家を守るためにも助成をお願いしたい。

答 渡辺善元議員

今年度の反省を踏まえ、生産者がコストを削減できるようにと考えている。そのため助成についてはお時間をいただきたい。

◇説明 菅野健治議員 「 除雪について 」

問（市民）

今年のような大雪だと人力では歯が立たない。トラクターに除雪のジョイントをつければ効率よくできるのではないか。行政区ごとに4～5台は必要だと思う。

答 渡辺由紀雄議員

実際には難しいのではないか。

問（市民）

長屋をモデル地区にして配備してみてもは。

答 菅野健治議員

トラクターについて議会でも調査してみる。

答 渡辺由紀雄議員

なにをするにもお金がかかるが財政には限界がある。そこで今回テーマを出した理由は、特に若い世代の共助がなくなってきているのではないか。ただ行政区にお金を払うのは責任放棄になりかねない。地域での住民の助け合いの精神を生かした方向で行っていただきたいという趣旨がある。

【意見交換会】テーマを「その他の意見交換」に移す

問（市民）

若い人が働く場所が地区にはほとんどない。10～20年先のビジョンをお聞きしたい。また白岩地区のふれあい実習館についてのアクセスなど宣伝に力をいれていただきたい。

答（司会）

この意見交換会では各議員の考え方ということに対しての答弁はご容赦いただきたい。

ふれあい実習館についてはまず行く途中の道など、防犯灯を増やしあかるくすべきと考える。また宣伝等 PR に力を入れるべきと考える

問（市民）

サロンで市の福祉バスを利用させていただいた経緯がある。その福祉バスが利用できなくなり、今年度は赤十字のバスで行った。これからもサロンで行いたいのでバスが利用できるように市に申し入れしていただきたい。

答 作田議長

今までの運用だと法律に抵触するので、補助金などで今までのような形をできたらと思う。

問（市民）

なるべく市のバスで運転手代やガソリン代を補助していただければと思う。

以上で終了

◇作田博議長

閉会挨拶

【午後 8 時 26 分閉会】